

衣類循環に向けた取り組み

4【衣類のリペア、アップサイクルを実施している事業者】

■パタゴニア・インターナショナル・インク日本支社

取り組み概要 及び 効果

●1973年に米国でブランドを創設して以来目指すのは、機能的で高品質なモノづくりに加え、責任あるビジネス構築。
顧客に「必要のないものを買わない」よう促しながらも、健全で収益性の高いビジネスを持続するためのバランスの取り方を、常に模索している。

●製品の手入れやセルフリペア方法をウェブサイトに掲載。

<https://www.patagonia.jp/repairs/>
ボタンやジップスライダーなどのセルフリペアは、動画にして配信。
リペア・キットの販売も行う。

左:ジップスライダーのリペア動画。
右:Worn Wear・フィールド・リペア・キット。



●製品のリペアサービスも展開。

修理受付ページのトップには「なぜ製品の寿命を延ばすべきか」、というメッセージとともに消費を減らすことの重要性もうたわれている。

<https://www.patagonia.jp/jp-start-repair.html>

●グローバルな取り組みとして2013年から衣類やギアを循環させる社会の仕組みづくりを目指した「Worn Wear(ウォーン ウェア)」プログラムを開始。

店頭BOXや送付で自社製品の衣類などの回収を行うほか、日本支社では2024年からは自社製品の買い取りサービスも開始。オンラインでの買い取りも行う。

目標:長期目標として2040年までに1~3の全スコープ(※)における**温室効果ガス(GHG)排出量を90%削減**し、バリューチェーン全体でGHG排出量と除去量を差し引きゼロにする「ネットゼロ」の達成。

※自社内の炭素排出源3分野

パタゴニア・インターナショナル・インク日本支社

神奈川県横浜市戸塚区川上町91-1 BELISTA タワー東戸塚5階
(パタゴニア名古屋/名古屋市中区丸の内3-20-17 KDX桜通ビル1F)
<https://www.patagonia.jp>

米国パタゴニア社は、アウトドア業界のリーディングカンパニーであるとともに、環境危機や社会問題に対して責任を持ったビジネスを展開する「レスポンシブル・カンパニー」の先駆者としても知られています。

ミッション・ステートメント(行動指針)は「私たちは、故郷である地球を救うためにビジネスを営む」。

直営店である名古屋ストアでは、簡易的なリペアや、役割を終えたウェアの回収などを実施している。